

広島県チームとの試合で攻撃するフェニックスの選手ら

グ戦で順位を競った。ティーボールは、野球に似たスポーツで1チーム10人以上で対戦。投手が打者に投球する代わりに、本塁上に置いたティーと呼ばれる棒に乗せたボールを打ち、守備では網などで捕球する。



野仙一杯争奪第5回西日本肢体不自由児ティーボール交歓大会」が3日、岡山市北区北長瀬表町の岡山ドームで開かれ、中四国、九州から6チームの児童生徒ら計96人が出場、親睦を深めた。

ティーボール 6チーム交流 岡山で星野仙一杯 肢体不自由児大会

倉敷市出身で、プロ野球・東北楽天ゴールデンイーグルスの星野仙一球団副会長が大会会長を務める「星

開会式には星野さんも出席し「ここが皆さんの甲子園。勝負にこだわって喜びや悔しさを味わい、大いに楽しんでほしい」と選手を激励した。

大会は旭川療育園（同祇園）のフェニックスをはじめ、広島、香川、島根、愛媛、佐賀県のチームがリ

障害に応じたルールもあり、選手たちは「ナイスバットイング」「思い切ったいこう」などと声を掛け合ったり、拍手したりしながら元氣いっぱいプレーした。若草園ヤングスターズ（東広島市）が2連覇、フェニックスは3位だった。

フェニックス主将の高橋未岬君（17）は「最初はみんな緊張していたけど、徐々にほぐれて楽しめるようになった。他県の人たちとスポーツで交流できてうれしい」と話していた。

星野さんは1984年から社会福祉法人・旭川荘の施設を慰問、大会には第1回から協力している。

（小川正貴）